

東京未来大学研究紀要

第19号

2025年（令和7年）3月

目 次

原著

- 大学生における聞き取り困難 (LiD) に関する検討
川原 正人 (1)
- 外見に関する社会的比較と外見満足に関連
—比較頻度と比較方向を要因とした検討—
鈴木 公啓 (11)
- フォルケホイスコーレとコミュニティ心理学の交差点
—人間の成長と社会の成熟を目指して—
藤後 悦子 (19)
- 初等英語教育における協同学習
—先行研究のレビューを通じた考察—
橋元 知子 (31)
- 数学講義を受ける Silently Engaged Students の学習活動についての質的横断研究
—ポストテスト, 自由記述を手掛かりにして—
紙本 裕一 (39)
- 小学校教員養成課程「家庭」および「生活」におけるキャリア教育の授業開発 (1)
—人生すごろくを基にして—
小林 久美・鈴木 哲也 (49)
- 小学校教員養成課程「家庭」および「生活」におけるキャリア教育の授業開発 (2)
—公的年金の計算を含めた授業実践—
鈴木 哲也・小林 久美 (59)
- 「ぶんぶくちやがま」と綱渡り
—見世物はどのように描かれてきたか—
佐々木由美子・相澤 京子 (65)
- 複合マイノリティとインターセクショナルリティ
—ドイツにおける文化の多様性に関する国際学会参加とインクルーシブモスク訪問からの考察—
白石 雅紀・戸田 有一 (75)
- 「印象ドローイング」を取り入れた授業ポートフォリオの教育的効果
—教員養成における「芸術知」の育成—
高橋 文子・佐藤 陽香 (87)

Temple Ewell 行政教区 Cold Blow が意味する「風の強さ」に関する考察
—2021年夏の天気予報データより—

宅間 雅哉 (99)

保育者のキャリア形成に関する研究 (5)
—保育所で勤務する看護師のキャリア形成に焦点を当てて—

浅井かおり・浅井拓久也 (107)

研究ノート

キリスト教主義の通信制高等学校での教育と心理的支援の並立における自己一致

石倉 篤 (117)

ソーシャルスキル・トレーニングの効果検討

—通信教育課程における短期プログラムと通学課程における中期プログラムの比較—

日向野智子・磯 友輝子・藤後 悦子・山極 和佳・高橋 一公・角山 剛 (129)

青年期における醜形恐怖心性と SNS との関連

大村美菜子 (139)

近年の我が国の高等教育における学生支援に関する文献研究
—学校種別の研究動向に焦点化した定量的な分析—

佐藤亮太郎・時得 里彩 (145)

和文フォントの印象評価について

岩崎 智史 (153)

東京未来大学研究紀要 投稿規程

(159)

紀要委員会

(161)

英文目次

(162)

東京未来大学研究紀要 投稿規程

2024.3.27 改正

1. 本誌に筆頭著者として投稿できる者は、本学の専任教職員とする。筆頭著者として投稿できるのは、1編のみである。ただし、依頼原稿についてはこの限りではない。

2. 原稿の内容

- 1) 原稿は、和文または英文とする。
- 2) 原稿は未公開のものに限る。他に投稿中の原稿も認められない。
- 3) 原稿は原著、実践報告、研究ノート等とする。

3. 原稿の体裁

- 1) 原稿は、原則としてA4サイズ、MS Word（2000以降）で作成し、データファイルで提出する。但し、図、表、写真等については、4に定める。
- 2) 原稿には要約とキーワード（5語以内）を付す。要約は原則として、和文、英文のどちらかとし、和文400字以内、英文175語以内とする。要約に他の言語を使用する場合は、紀要委員会に検討を依頼することができる。
- 3) 原稿は1ページあたり、横書きの場合23字×39行、縦書きの場合31字×28行とし、図、表、写真等に要するスペースも含めて、1段組で20ページ以内、2段組で10ページ以内とする。文字サイズを10.5ポイントとし、和文フォントはMS明朝、英文フォントはTimes New Romanとする。1つのデータファイルに、原稿種別、タイトル（和文・英文）、著者名（和文・英文）、要約、キーワード、本文を収める。
- 4) 本紀要は、横書き2段組、縦書き2段組、モノクロ印刷を原則とするが、特殊な版組が必要である場合は、紀要委員会に検討を依頼することができる。
- 5) 上記3)に定める上限のページ超過、原稿用紙手書きの原稿、2色以上の印刷、用紙の特殊な指定、及び製版に特別な費用を要する場合については、執筆者の内の本学専任教員が、その費用を個人研究費、あるいはそれに準ずる資金から負担できる範囲に限って認められる。但し、執筆者に本学専任教員を含まない場合については、その扱いを、紀要委員会で決定するものとする。
- 6) 原稿の形式、引用文献の記載は、各専門分野の慣例に従うこととする。但し、脚注は用いない。
- 7) 英文タイトル及び英文原稿（要約・本文）の書式の細部については、原則としてAPA（American Psychological Association）論文作成マニュアルに準拠する。

4. 図, 表, 写真等

- 1) 提出する図, 表は, 原則としてMS Word (2000以降), Excel (2000以降) で作成するもの, またはそれらに挿入できる形式のものとし, 個々の原版となるデータファイル及びそれぞれのPDF ファイルを, 原稿と併せて提出する。印刷用版下については, 必要に応じて提出する。
- 2) 写真は一色刷か多色刷りかを指定した上で, 原則としてデジタルデータファイルを提出するほか, 必要に応じて, 適宜, トリミングの指示をする。
- 3) 図, 表, 写真等は本文の欄外に挿入位置を指示するか, あるいは本文中に挿入するものとする。図, 表, 写真等にはそれぞれ図1, 図2, …, 表1, 表2, …のように通し番号をつけ, 必ず縮小率と天地を指定する。
- 4) 図, 表, 写真等の説明は, 必要があれば別紙に記す。
- 5) 提出する写真のデジタルデータファイルは, なるべく解像度の高いものとする。

5. 増刷は原則として, 投稿者の負担とする。

6. 投稿された論文については, すべて査読を行う。紀要委員会が委嘱する査読者の査読結果に基づき, 委員会が掲載の可否を決定する。査読は本学学内の専任教員に限らず, 学外者に依頼する場合がある。いずれの投稿についても原稿の改稿を求めることがある。

7. 英文タイトル及び英文原稿(要約・本文)は, 委員会が依頼する英語母語話者により, 英文の査読を行う。

8. 校正に関しては, 投稿者の責任とする。

9. 提出締め切りおよび発行時期

- 1) 投稿を希望する者は, 紀要委員会が定める期日までに指定の執筆意向調査書を所定の方法で紀要委員会に提出する。
- 2) 原稿は, データファイルで締切日までに紀要委員会に提出する。
- 3) 原則として年1回, 毎年3月末日までに発行する。

10. 本誌に掲載された原稿の著作権は著者に帰属する。但し, 本誌に掲載された原稿は, 原則として本学が他の出版物・媒体で公刊することができる。

以 上

紀 要 委 員 会

委員長	小 林 久 美
委 員	杉 本 雅 彦
	小 谷 博 子
	岩 井 真 澄
事 務	野 島 誠 紘

Tokyo Future University Bulletin
2025 Vol.19

Contents

A Study of Listening Difficulties (LiD) among University Students in Japan <i>Masato Kawahara</i> 1
The Relationship Between Social Comparison and Appearance Satisfaction: Examining Frequency and Direction as Factors <i>Tomohiro Suzuki</i> 11
The Intersection of Danish Folk High Schools and Community Psychology: Exploring An Educational Model Connecting Human Growth and Social Change <i>Etsuko Togo</i> 19
Cooperative Learning in Elementary English Education: Implications From a Literature Review <i>Tomoko Hashimoto</i> 31
Quantitative Cross-Sectional Research on Learning Activities of Silently Engaged Students in Mathematics Lecture: Assessing the Posttests and Free-Description <i>Yuichi Kamimoto</i> 39
Development of Career Education Lessons for Elementary School Teacher Training Courses in “Home Economics” and “Living Environment Studies” (1): Based on “Life Sugoroku” <i>Kumi Kobayashi and Tetsuya Suzuki</i> 49
Development of Career Education Lessons for Elementary School Teacher Training Courses in “Home Economics” and “Living Environment Studies” (2): Through Lesson Practices Including the Calculation of Estimated Pension Benefits <i>Tetsuya Suzuki and Kumi Kobayashi</i> 59
A Study on “Bunbukuchagama” and Funambulism: How Has the Chagama Show Been Represented? <i>Yumiko Sasaki and Kyoko Aizawa</i> 65
Multiple Minority Identities and Intersectionality: Reflections from an International Conference on Cultural Diversity and Inclusive Mosque Visits in Germany <i>Masanori Shiraishi and Yuichi Toda</i> 75
Assessing the Educational Effects of Lesson Portfolios Incorporating “Impression Drawing”:	

Cultivating “Artistic Understanding” in Teacher Training <i>Fumiko Takahashi and Haruka Sato</i> 87
A Study on the “Wind Strength” Meant by Cold Blow in Temple Ewell Civil Parish: Based on the Weather Forecast in Summer 2021 <i>Masaya Takuma</i> 99
Research on Career Development for Childcare Workers (5): Focusing on Career Changes of Nurses Working in Daycare Centers <i>Kaori Asai and Takuya Asai</i> 107
Congruence at a Christian Correspondence High School Providing Psychological Support Together with Education <i>Atsushi Ishikura</i> 117
An Examination of the Effectiveness of Social Skills Training: Comparison of Short-Term Correspondence Courses and Mid-Term Classroom Courses <i>Tomoko Hyugano, Yukiko Iso, Etsuko Togo, Waka Yamagiwa, Ikko Takahashi, and Takashi Kakuyama</i> 129
The Relationship Between Dysmorphobia Tendency and Social Media Use in Adolescence <i>Minako Ohmura</i> 139
A Literature Review of Recent Students Support in Higher Education in Japan <i>Ryotaro Sato and Lisa Tokie</i> 145
A Image Research for Japanese Fonts <i>Satoshi Iwasaki</i> 153

東京未来大学研究紀要 第19号

2025年3月31日 発行

編 集 東京未来大学紀要委員会

発 行 東京未来大学

〒120-0023 東京都足立区千住曙町34番12

電話 03-5813-2525

FAX 03-5813-2529

印 刷 上武印刷株式会社

〒370-0015 群馬県高崎市島野町890-25

電話 027-352-7445